

平成 28 年 2 月 23 日

商 工 中 金

**「グローバルニッチトップ支援貸付制度」適用
フィリピンに生産拠点を新設して海外市場シェアの拡大を目指す
暖房器具製造の株式会社千石を金融面からサポート！**

商工中金は、政府の「日本再興戦略」に沿って、特定分野に優れた中小企業等の海外進出を、民間金融機関と協調して後押ししていくため、平成 26 年 4 月に「グローバルニッチトップ支援貸付制度」を創設しています。

商工中金（姫路支店）は、同制度を活用し、株式会社千石（本社：兵庫県加西市、代表者：千石 唯司氏）に対し、民間金融機関と協調して、フィリピンに生産拠点を開設するための必要資金の一部として 1 億 2 千万円を融資しました。

株式会社千石は、ストーブ、ヒーターの暖房器具等を生産し、企画・設計から製造までの一貫生産体制を強みにしています。特に、発熱効率の高いグラファイトを使用したヒーター製造では、国内トップシェアを占めています。また、日本国内に加え中国に生産・販売拠点を構え、海外にも製品を供給しています。

今回、同社は、新たにフィリピンに生産工場を設立して、国内外における生産体制の見直しや自社ブランド製品の生産・販売を強化し、アジアをはじめ海外市場のシェア拡大を図る事業計画を策定しました。商工中金は、こうした同社の海外事業計画を評価し、民間金融機関と協調して、必要資金を融資しました。

これからも商工中金は、国内外の 104 店舗に設置している「中小企業海外展開サポートデスク」を通じて、資金面のみならず各種ソリューション・情報提供等を行い、対象企業の戦略的な海外事業展開を支援してまいります。

【株式会社千石の概要】

所在地	兵庫県加西市別所町 395	資本金	96 百万円
代表者	千石 唯司	従業員数	290 名 (平成 27 年 12 月現在)
業種	暖房器具等製造業	設立	昭和 38 年 1 月

【新設したフィリピン現地法人 (SENGOKU PHILIPPINES INC) の概要】

所在地	フィリピン・LAGUNA,	資本金	92 百万フィリピンペソ
代表者	Takehira Sengoku	設立	平成 28 年 1 月

【参考：グローバルニッチトップ支援貸付制度の概要】

○制度趣旨

日本の産業競争力の強化を目的に、特定分野に優れ世界で存在感を示す中小企業等に対し、海外進出の際に必要な長期資金を供給する、国の産業投資貸付を利用した商工中金独自の融資制度。

○貸付対象者

自社製品・サービスのグローバルシェア拡大を目指し、海外拠点の設立又は拡大並びに海外向け販路拡大等を行う事業計画（商工中金が適当と認めたものに限る。以下、海外事業計画という。）を有する者で、(1)、(2)のいずれか、かつ(3)(4)の要件を満たす者。

- (1) 今後3年間の海外事業計画が作成され、かつ、直近の事業年度における海外向け売上高比率が10%以上であり、当該海外事業計画期間中の海外向け売上高が5%以上増加していること。
- (2) 今後3年間の海外事業計画が作成され、当該海外事業計画期間中の海外向け売上高比率が5ポイント以上増加していること。なお、商工中金が認めた場合は、5年間で達成する海外事業計画の作成も可とする。
- (3) 自社製品・サービスについて、日本国内において一定のシェアを確保していること又は高い技術力・商品力を有していること。
- (4) 日本国内において事業活動拠点（本社）が存続すること。

○資金使途

- (1) 海外現地法人に対する出資金
- (2) 海外現地法人の事業運営に必要な設備の新增設、更新、改良、補修及び無形固定資産の取得等のための設備資金又は海外現地法人の事業運営に必要な運転資金の転貸（親子ローン）
- (3) 自社製品の海外販売を増加させるための設備資金
- (4) 自社製品の海外販売を増加させるための研究開発費

○貸付条件

貸出形式	証書貸付
限度額	5 億円
償還方法	期限一時返済
利率	成功の場合は当金庫所定の利率、不成功の場合 0.6%
貸付期間	原則 10 年

○利率（成功判定）

利率は、事業の成否に応じた変動金利とする。

現地法人の直近決算（現地法人への出資金・親子ローンの場合）又は債務者の直近決算（国内法人への設備資金、研究開発資金の場合）の経常損益が赤字の場合は 0.6%、黒字の場合は当金庫所定の利率とする。なお、黒字の場合であっても、海外事業計画期間中（上記貸付対象者（1）の場合は3年、同対象者（2）は3～5年）、海外向け売上高実績が当該海外事業計画の80%未満の場合は 0.6%とする。